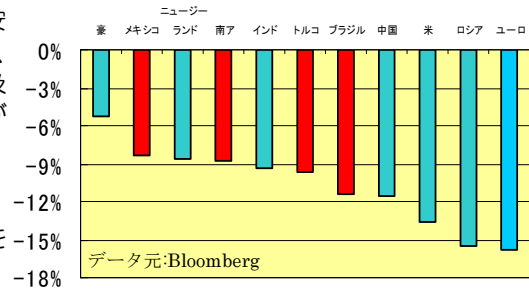




エマージング通貨の対円年初来騰落率 10年1月1日～10年10月29日

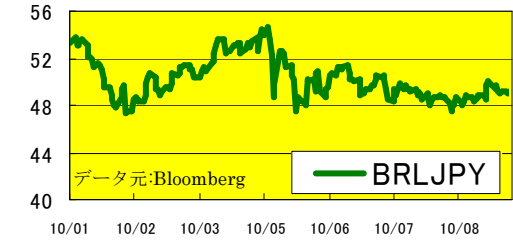


直近の動向

10月は米国の11月のFOMCでの追加緩和観測が根強く、ドル安傾向が続いた。月半ばにシンガポールドルの取引バンドが拡大され、シンガポールドル買い/ドル売りが加速、ドル売りが他通貨にも波及した。G20にて、通貨安競争の回避が表明され、為替介入の動きが出にくくなるとしてドル売りが継続、新興国通貨は対ドルで上昇、もしくは横ばいの動きが多く見られた。米紙報道により追加緩和規模が市場予想より小さいとの観測が広がりドルが一時買い戻されたが、NY連銀が米国債買入による市場への影響を調査したとの報道を受け追加緩和に積極的との観測が再燃、再び大幅ドル安となった。

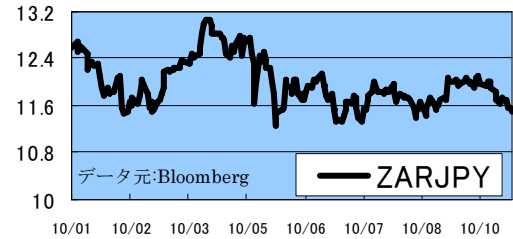
ブラジル

20日に政策金利を10.75%に据え置き。経済指標は景気減速が峠を越え、内需が堅調なことを示しており、外国資本の流入が増加している。為替介入を強化してもレアル高に歯止めがかからず、通貨高抑制のため10月中に二度、金融取引税(IOF)を引き上げている。次期大統領が与党ルセフ氏に決まり、ルラ現大統領の政策が引き継がれると見られている。就任は来年1月1日。



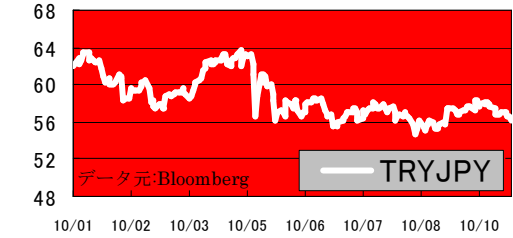
南アフリカ

W杯効果の剥落等から、軟調な経済指標が見られるが、インフレ動向は安定し、財政赤字が縮小と良い指標も。中銀は対ドルでのランド高を懸念しており、為替介入の可能性は通貨見通しの不安材料。現在、様々な企業がアフリカ戦略を強化しており、資生堂が10月より南アへ進出、ウォルマートも南アの小売大手に買収提案をし、南ア進出を目指すなど、成長市場としての注目度が増している。



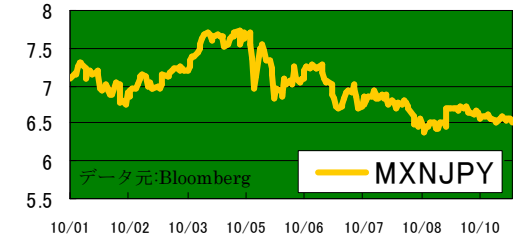
トルコ

14日に政策金利を7.00%に据え置き。物価指数が上昇、中銀は一時的で第4四半期には低調に戻るとし、景気回復下支えのため長期にわたり政策金利を低水準に据え置くべきとの考えを示した。27日に発表の9月貿易収支は市場予想を上回る貿易赤字。内需は好調だが、外需は不調、自国通貨高も輸出を圧迫している。格付け会社ムーディーズが格付け見通しをポジティブに引き上げた。



メキシコ

15日に政策金利を4.50%に据え置き。経済指標は強弱まちまち。低調なものの上昇を続ける内需関連は好感を持って迎えられているが、米との相関性の高さから先行きを懸念する声も多い。新興国への資金流入から自国通貨高に頭を悩ませる国も見られているが、メキシコは通貨高抑制策を取っておらず、これが過大評価に繋がる可能性があるとの声もある。株式市場が史上最高値を更新している。



為替レート見通し

対円 (JPY)	10/11	11/02	11/05	11/11
米ドル (USD)	81	82	83	85
ブラジルレアル (BRL)	47	48	51	52
南ア・ランド (ZAR)	11.6	12.0	12.1	12.3
トルコリラ (TRY)	56	58	58	59
メキシコペソ (MXN)	6.56	6.78	6.87	6.98



この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした2010年11月1日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。

店舗案内

本社 :
東京都中央区新川
一丁目21番2号
茅場町タワー
TEL: 03-5541-9208

京都支店 :
京都市中京区烏丸通
錦小路上ル手洗水町
659番地 烏丸中央ビル
TEL: 075-222-1001

大阪支店 :
大阪市中央区南船場
一丁目18番17号
商工中金船場ビル
TEL: 06-4705-6701

名古屋支店 :
名古屋市中村区名駅
三丁目22番8号
大東海ビル
TEL: 052-564-0051

札幌支店 :
札幌市中央区
北一条西二丁目1番地
札幌時計台ビル
TEL: 011-221-1375

越谷支店 :
埼玉県越谷市赤山本町
2番14号
越谷駅西口TRビル
TEL: 048-967-6011

宝塚支店 :
兵庫県宝塚市逆瀬川
一丁目11番1号
アピア2
TEL: 0797-77-7751